

# 平成 27 年度予算

【詳細】 総務部財政課 ☎ 381-1010

## 基本方針

「えべつ未来づくりビジョン」の2年目となる今年は、まちづくりの基本理念に掲げた4つの柱と、基本理念の根幹となる「協働のまちづくり」の考え方を踏まえてまちづくりを進めます。当初予算は、いわゆる骨格予算として編成していますが、国の緊急経済対策に対応し、平成26年度補正予算と一体的に推進します。

### 基本理念

安心して暮らせるまち

活力のあるまち

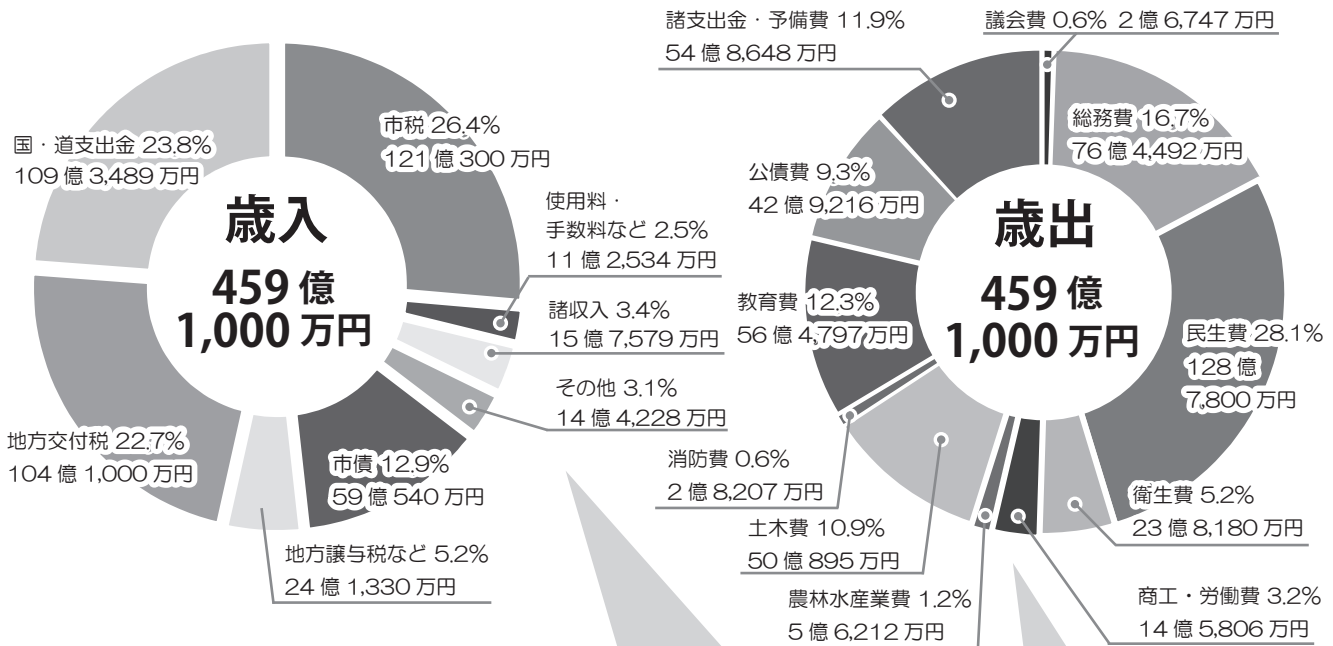
協働のまちづくり

子育て応援のまち

環境にやさしいまち

## 一般会計

統一地方選のため、継続事業を中心とした骨格予算としています。



前年度比

14億9千万円増

一般会計は459億1千万円で、前年の444億2千万円から増加しました。これは、小中学校の耐震化や統合保育園の建設のほか、福祉・医療などの社会保障費の自然増によるものです。

市民1人当たりになると

支出額 38万 2,297円

うち市税負担額 10万 783円

※予算額を人口12万90人（H27.3.1現在）で割り、市民一人当たりの支出額と市税の負担額を算出しました。

民生費 10万 7,236円	土木費 4万 1,710円	農林水産業費 4,681円
総務費 6万 3,660円	公債費 3万 5,741円	消防費 2,349円
教育費 4万 7,031円	衛生費 1万 9,834円	議会費 2,227円
諸支出金・予備費 4万 5,687円	商工・労働費 1万 2,141円	

## 特別会計 254億 4,200万円

前年度比 13億 2,600万円増

国民健康保険特別会計	148億 2,400万円
後期高齢者医療特別会計	15億 5,200万円
介護保険特別会計	88億 1,900万円
基本財産基金運用特別会計	2億 4,700万円

## 企業会計 185億 2,901万円

前年度比 6億 488万円減

水道事業会計	37億 7,820万円
下水道事業会計	60億 9,342万円
病院事業会計	86億 5,739万円

きれいな空気、清らかな水、豊かな緑に恵まれた美しく住みよいいべつをめざします



花のある街並みづくり事業 379 万円

花壇づくりに積極的に取り組む自治会や小・中学校に対して、花苗・資材代や管理活動に対する活動協力補助金を助成します。

- ◆ 花壇づくりモデル校支援
- ◆ 花苗助成事業補助金
- ◆ 活動協力補助金



生ごみ減量化推進事業 42 万円

家庭からの生ごみ排出量を減らすための取り組みを進めます。

- ◆ 生ごみ堆肥化容器購入助成
- ◆ 生ごみ減量化の啓発
- ◆ **新規** 生ごみを減らすために食材を無駄なく使いきる料理を学ぶ「生ごみダイエットレシピ」講習会開催



地域特性を活かした産業が躍動するえべつをめざします



野幌駅周辺地区商店街活性化促進事業 855 万円

江別の顔づくり事業（街路事業）に伴う野幌商店街の再編整備促進のため、商店街の要請により出店したテナントなどの出店経費を助成します。

- ◆ テナント改装費補助
- ◆ テナント家賃補助
- ◆ 商店街再編整備コーディネーター配置委託



総合特区推進事業 847 万円

北海道フード・コンプレックス国際戦略総合特区（フード特区）を北海道や札幌市などと連携して推進し、食品の付加価値を高める研究・産業都市への発展を図ります。

- ◆ 企業の新商品開発や海外市場開拓に対する支援
  - ◆ フード特区の取組みの PR 活動
- 平成 26 年度補正予算に前倒し計上 (650 万円)
- ◆ **新規** 食の臨床試験活用企業へ機能性食品開発支援

都市と農村交流事業 99 万円

江別産農畜産物の地産地消や、生産者と市民の交流を支援します。江別の農産物ファンの拡大を目指し、市内外に積極的に PR します。

- ◆ 直売所マップの作成
- ◆ 直売所スタンプラリーの実施
- ◆ 収穫体験ツアーの実施
- ◆ 「えべつかあさんブランド」認証シール作成補助



地域発見魅力発信事業 302 万円

各種マップの作成や体験型ツアーの実施などを通じて、江別市の魅力を効果的に発信し、観光客の誘致を図ります。

- ◆ えべつルートマップ作成
- ◆ 健康ウォーキングマップ（野幌駅周辺）の作成
- ◆ 札幌圏の親子を対象としたバスツアー
- ◆ **新規** ノハナショウブ群生地の保存活用

**新規** 介護人材育成事業

介護分野への就労を希望する方に対して、資格の取得や市内事業所への就労を支援します。

- 平成 26 年度補正予算に前倒し計上 (1,146 万円)
- ◆ 有給研修・実習
  - ◆ 資格取得支援

だれもが健康的に安心して暮らせるえべつをめざします



**新規** 生活困窮者自立支援事業 1,551 万円

平成 27 年 4 月から、江別市社会福祉協議会が窓口となり、生活保護制度の対象外の生活困窮者の方に対する相談業務を行います。離職により住宅を喪失した方への支援も行います。

- ◆ 自立に向けた相談・情報提供・支援（江別市総合社会福祉センター内）
- ◆ 住宅確保給付金の支給

**新規** 高齢者等社会参加促進バス助成事業 772 万円

高齢者や障がい者などの生きがいをづくりや社

健康づくり推進事業 451 万円

「えべつ市民健康づくりプラン 21」に基づき、市民の健康保持・増進を目指した生活習慣の実践や地域の健康づくり活動を推進します。

- ◆ チェアエクササイズ（はつらつ教室）
- ◆ 健康づくり推進員の活動支援
- ◆ 心の健康づくり ◆ 出前講座

平成 26 年度補正予算に前倒し計上 (91 万円)

- ◆ **新規** 江別市独自のリズムエクササイズ制作・普及

会参加などを目的とした活動に対し、団体で借り上げるバスの費用の一部を助成します。

- ◆ 市内の福祉関係団体等に対する一部助成

## だれもが安全で安心して暮らせるえべつをめざします



### 地域防災力向上支援事業 403 万円

市民の防災意識啓発や災害訓練の実施により、「自助・共助」の強化を図り、地域の防災力の向上を推進します。

- ◆ 災害訓練（総合防災訓練、避難所運営訓練）
- ◆ 防災研修・出前講座
- ◆ 防災あんしんマップ作成



**新規** 段ボール間仕切り作成訓練

### 自治会防犯灯設置費補助金 4,914 万円

各自治会などが設置する生活道路の防犯灯について、環境負荷の低減・省エネ化のためにLED灯への更新を推進します。

また、LED灯への更新にかかる自治会等の費用負担を軽減するため、LED化促進奨励金を交付します。

- ◆ 防犯灯設置費補助金（1,647 灯予定）
- ◆ LED化促進奨励金（1,843 灯予定）

## 暮らしやすさを実感できるえべつに向けて都市基盤の形成をめざします



### 江別の顔づくり事業 13 億 1,390 万円

街路・土地区画整理事業等により野幌駅周辺地区を整備し、安全で快適な都市生活の充実を図ります。

- ◆ 街路事業等  
野幌駅南通、天徳寺グリーンモール整備ほか
- ◆ 商業等活性化事業
- ◆ 土地区画整理事業  
鉄西線・8 丁目通・旭通整備、物件補償ほか

### 新栄団地建替事業 9 億 296 万円

平成 27 年度は、集会所と前年度に着工した B 棟が完成の予定です。また、C 棟について実施設計を行います。（全体計画 6 棟 290 戸 平成 22～35 年度）

- ◆ B 棟建設工事（48 戸）
- ◆ 集会所建設工事
- 新規** C 棟実施設計



### 公共交通利用促進対策事業

バスの利便性や交通機能の向上のため、路線再編などの検討に向けた実証運行および会議を行います。

平成 26 年度補正予算に前倒し計上（1,834 万円）

- ◆ バス路線マップ改訂版作成
- 拡大** 地域公共交通会議開催
- 新規** 実証運行

## 未来のえべつを支える元気で情操豊かな子どもたちの育成をめざします



### 保育料の軽減拡大（平成 27 年 4 月実施）

- ◆ 軽減率（現行）13.63%→（変更後）25.8%  
「江別市子ども・子育て支援事業計画」に基づき、子育て家庭への経済的負担を考慮し、保育料の軽減拡大を図ります。

### 待機児童解消対策事業 1 億 1,311 万円

0～2 歳までの待機児童の解消に向け、受け皿となる小規模保育事業所などに対し、人材確保や運営費補助などにより支援します。

- ◆ 保育従事者の養成
- ◆ 小規模・事業所内保育施設の運営補助
- ◆ 施設改修補助

**拡大** 2 施設から 6 施設へ増加

### 小学校外国語活動支援事業 2,130 万円

より低学年から英語の聞き取りや発音に慣れるため、英語を母国語とする外国人指導助手により、全学年で外国語活動を行います。

**拡大** 1～2 年生全クラスを含め全校で実施

### 江別小学校・江別第三小学校 統合校建設事業 3 億 7,397 万円

江別小学校・江別第三小学校統合校（江別第一小学校）で使用する新校舎の建設を開始します。校舎には放課後児童会を併設します。

- ◆ 新校舎建設（平成 28 年秋完成予定）

### 親子安心育成支援事業（子育てひろば事業） 2,601 万円

商業施設内に開設した子育てひろば「ぼこあぼこ」を運営します。季節や天候を問わない室内型で、子どもが遊べる空間を提供します。

- ◆ 子育てひろば「ぼこあぼこ」  
原則無休。9:30～17:30  
利用料無料。0 歳～小学校 3 年生まで（保護者同伴・図書コーナーは小学校 6 年生まで）。





# 新年度の主な事業

## 心の豊かさを実感できる成熟した生涯学習のまち・えべつの実現をめざします



### 歴史的れんが建造物保存活用事業 4,681万円

旧ヒダ工場について、民間事業者による保存改修を支援し、商業施設として活用します。

- ◆ 用地購入に係る土地開発基金への償還金

**新規** 活用事業者に対する改修経費補助

平成 26 年度補正予算に前倒し計上 (1,260 万円)

**新規** 集客イベント開催経費

**新規** グレシャムアンテナショップ移転整備

### えべつ市民カレッジ（四大学等連携生涯学習講座）事業 39万円

市内の 4 大学と市が協働で実施している「ふるさと江別塾」と大学自主公開講座を「えべつ市民カレッジ」として総合的に情報を提供します。

- ◆ えべつ市民カレッジの市民向け PR
- ◆ ふるさと江別塾開催

**新規** 「市民カレッジ手帳」作成・交付

## 市民や各種団体など多様な主体が、協働でまちづくりに取り組むえべつをめざします



### 市民協働推進事業 319万円

市民協働によるまちづくりを推進するため、市民活動団体の活動を支援します。

- ◆ 協働のまちづくり活動支援事業（公募による市民活動団体の取組みへの補助）
- ◆ 市民活動団体の活性化支援
- ◆ 市民活動情報の発信

### 大学連携学生地域活動支援事業 33万円

市内 4 大学の学生によるまちづくりや地域活性化に資する活動に対し補助金を交付します。

- ◆ 江別市大学連携学生地域活動支援事業補助金（上限 10 万円）
- ◆ 学生発のまちづくり提案支援

### 協働を知ってもらう啓発事業 47万円

未来を担う子どもたちに協働の理念を知ってもらうため、リーフレットを作成し、小学校 4

年生・6 年生を対象に出前講座を実施します。

- ◆ リーフレット作成
- ◆ ミニ出前講座

## 透明性が高く、効率的で公平な市政運営を行い、着実に計画を推進します



### ウェルカム江別事業 264万円

交通の利便性や豊かな公園などの快適な住環境、充実した教育体制、特色ある産業など、江別市の魅力を子育て世代に PR し、転入者の増加を目指します。

- ◆ えべつタウンマップの作成

**新規** 大学生によるえべつプロモーション動画の作成支援

### **新規** 江別駅周辺地区土地利用検討事業 656万円

統合後の江別小学校の跡地について、周辺の活性化につながるような利活用の方針を検討します。

- ◆ 活用方針を検討する委員会開催
- ◆ 測量等調査

## えべつ未来戦略

「えべつ未来づくりビジョン」の基本理念に基づく「まちづくり政策」を推進するため、重点的・集中的に取り組む 4 つの「未来戦略」の主な事業を紹介します。

### 戦略1 ともにつくる協働のまちづくり

- ◆ 市民参加条例制定事業 ◆ 市民協働推進事業
- ◆ 自治会活動支援事業 ◆ 協働を担う人材育成事業
- ◆ 大学連携学生地域活動支援事業 ◆ 大学版出前講座支援事業 ◆ 大学連携調査研究助成事業 ほか

### 戦略3 次世代に向けた住みよいえべつづくり

- ◆ 待機児童解消対策事業 ◆ 白樺・若草乳児統合園建設整備事業 ◆ 児童生徒体力向上事業 ◆ 小中学校学習サポート事業 ◆ 大麻地区住環境活性化事業 ◆ 江別の顔づくり事業（土地区画整理事業） ほか

### 戦略2 えべつの将来を創る産業活性化

- ◆ 食を軸とした観光誘客・地場産品販路拡大事業 ◆ 商店街参入促進事業 ◆ 総合特区推進事業 ◆ 都市と農村交流事業 ◆ 企業立地等補助金 ◆ 江別産農畜産物ブランドینگ事業（平成 26 年度補正予算に前倒し計上） ほか

### 戦略4 えべつの魅力発信シティプロモート

- ◆ ふるさと納税普及促進事業 ◆ ウェルカム江別事業 ◆ えべつシティプロモーション事業（平成 26 年度補正予算に前倒し計上）

# 上下水道事業

〔詳細〕 水道部総務課  
財務係 ☎ 385-1214



## 平成 27 年度の予算・取り組み

平成 27 年度の上下水道事業は、江別市水道事業・下水道事業中期経営計画に基づき、水道事業会計は、37 億 7,820 万円、下水道事業会計は 60 億 9,342 万円の予



算で基幹管路の耐震化や施設整備、雨水管路整備などを行います。

中期経営計画および平成 27 年度予算の詳細については、市水道部 HP でご覧いただけます。(https://www.city.ebetsu.hokkaido.jp/site/suidou/)

## 水道事業会計

基幹管路耐震化事業	3 億 6,422 万円
災害に強いライフラインの構築を図るため、基幹管路を耐震化。	
配水管整備事業	1 億 2,705 万円
水道水の安定供給のため、配水管を計画的に更新・整備。	
配水施設整備事業	3,635 万円
浄水施設整備事業	6,584 万円

## 下水道事業会計

雨水管路整備事業	2 億 2,747 万円
浸水対策として大麻地区の幹線整備など。	
汚水管路整備事業	2 億 7,243 万円
野幌駅周辺土地区画整理事業に伴う汚水管路の整備など。	
管路施設改築更新事業	1 億 1,533 万円
管路状態のテレビカメラ調査など。	
処理場・ポンプ場施設改築更新事業	5 億 9,850 万円
環境に配慮した適切な下水処理を進めるため、老朽化した設備を計画的に更新。	
処理場・ポンプ場施設耐震化事業	8,500 万円

## 平成 27 年度の予算・取り組み

平成 27 年度は、引き続き医師や看護師などの確保や、医療機器の計画的な整備更新などにより、より充実した医療サービスの提供に努めます。

また、健康都市の実現に向けて各種検診を推進するとともに、高齢者や退院患者などが安心して自宅療養できるように、総合内科医などによる在宅診療を推進します。

さらに、地域医療を取り巻く厳しい環境に対応するため、近隣町村へ医師を派遣するなど、地域医療の安定・充実に向けた役割を果たしていきます。

経営面では、さらなる事業の効率化や経費の節減に努めていくとともに、資金繰りの悪化状況を表す不良債務額（資金不足額）の早期解消に取り組みます。

なお、平成 25 年度末に約 3 億 1,400 万円あった不良債務残

高は、平成 26 年度の収益が予算を下回っていることから、平成 27 年度末において 2 億円台後半が見込まれます。

今後も「公立病院改革プラン」や「江別市立病院経営健全化計画」に基づき、経営改善に向けた各種取り組みを着実に実行し、市民の皆様から信頼される病院経営に向けて努力していきます。

# 市立病院

〔詳細〕 市立病院管理課  
財務係 ☎ 382-5151



## 平成 27 年度予算と平成 26 年度予算（当初）との比較

区分		H27 年度	H26 年度	比較増減
病院事業収益		73 億 1,900 万円	74 億 5,500 万円	△ 1 億 3,600 万円
病院事業費用		74 億 2,900 万円	76 億 900 万円	△ 1 億 8,000 万円
当年度純損益		△ 1 億 1,400 万円	△ 1 億 5,800 万円	4,400 万円
患者数	入院	100,974 人	98,735 人	2,239 人
		276 人 / 日	271 人 / 日	5 人 / 日
	外来	189,123 人	190,784 人	△ 1,661 人
		778 人 / 日	782 人 / 日	△ 4 人 / 日
病床利用率	一般	82.4%	81.0%	1.4 ポイント
	精神	79.3%	76.9%	2.4 ポイント

## 消費生活相談 Q & A

### 携帯電話の紛失・盗難 すぐに利用停止と紛失届けを！

**Q1** 休日の昼、中学生の息子が携帯電話をバスに置き忘れてしまいました。  
夕方、友達から「おまえから変なメールが来たけど」と家の電話に連絡が入りました。息子から無くしたことを聞き、すぐ携帯電話会社に使用停止の連絡を行い、警察にも届けましたが、保存してある画像や個人情報を悪用されないか心配です。(女性・40歳)

**Q2** 海外出張中、携帯電話を盗まれ、その場で警察に被害届けを出しました。  
5日後に帰国し、携帯電話会社に盗難届を出しましたが、その間に使用された利用料金35万円を請求されましたがどうしたら良いでしょうか？(男性25歳)



**A** Q1の場合は、携帯電話会社の遠隔ロックサービスを利用すると情報の流出を防ぐことができます。

Q2は直ちに使用停止の届けと現地の警察に紛失届けを出します。ただし、携帯電話の使用停止の届けを行っていない場合、あるいは届けを出すまでの間の不正使用の料金は請求される場合もあります。

携帯電話の紛失や盗難にあったときの注意事項は、次のとおりです。

- ① 携帯電話会社などが提供する携帯電話端末の遠隔ロックサービスを活用し、不正利用やデータの流出を防ぎ、次に通信回線の停止手続きを行う。
- ② 早期発見のため、警察や紛失した施設などへの届け出も行う。また、IC機能を備えるスマートフォンなどでは、回線を停止しても端末にチャージした電子マネーは不正利用される恐れがあるため、IC機能のサービス事業者にも連絡しておく。
- ③ 普段から自分で設定できる携帯電話のロック機能の活用や、携帯電話の紛失・盗難時のサポート体制を確認しておく。

困ったときは、消費生活相談窓口もご利用ください。

●江別消費生活相談窓口  
(江別市経済部商工労働課内)  
月～木曜日 9:30～16:30  
金曜日 10:00～16:00  
☎ 381-1026

●江別消費生活相談市役所大麻出張所窓口  
金曜日 10:00～16:00  
☎ 382-4855

## 生活困窮者への 自立支援事業が始まります



### 困りごと 相談窓口を 新設

今月から、市総合社会福祉センター内に生活困窮者の困りごと相談窓口を新設しました。  
相談窓口は「生活困窮者自立支援法」に基づき開設するものです。  
対象となるのは、市内にお住まいで経済的に困窮している方や今後、困窮状態になるおそれがある方です。ただし、生活保護を受けている方は対象となりません。  
この窓口では、2名の専任支援員が困りごとをお聞きしてから、本人の同意の上、問題解決に向けた支援(例えば、就労開始に向けた助言やハ

ローワークへの同行など)関係機関と連携して実施します。  
費用はかかりませんが、ご利用の際には、事前にご連絡ください。  
なお、直接相談することができない場合は、電話での相談や訪問相談も行いますので、ひとりで抱えこまずに、まずはご連絡ください。  
●相談窓口  
くらしサポートセンターえべつ(錦町14・87市総合社会福祉センター内) ☎ 385-1234

### タイヤの盗難に注意!

タイヤの盗難被害が急増しています。

- ① 保管場所の確実な施錠を!
- ② タイヤを鎖で連結するなど、より一層の対策を!
- ③ タイヤには記名や目印を!
- ④ 不審者・不審車両を見かけたらすぐに110番を!

市民生活課 ☎ 381-1093